



発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
代電 2104・2105番



あなたの夢を仕立てる
テーラー 高島屋
平市公会堂通り
電話六三三七・七〇五九



春はそこまで

菜の花つむ手も軽やか

三月にはいよいよ春の訪れが、まはるかに風をたぎらせてきた。それでも待ちわびた春の訪れとともに、野の花は菜の花の芽が顔をのぞかせている。郊外に出ると畑には真実いろ的菜の花が花をほらほらと、田のあぜ道などから、菜の花畑に入り、うすれ……と重層を口ずかす子どもらの姿が、風はまはつめたいか、やわらかい日差しに春の気分を十二分に味わいながら、花をつむむ子どもらの手も軽やかだ。

菜の花の姿があらわれると、寒さももつとかながらを告げる。最近ではきれいな花を咲かせる菜の花を栽培する農家もめつきり減って、農村地区に足をもつて、数年前のように花を見ることもできない。野山の春の訪れとともに、酒でも春の衣替えを売りに出している。本腰を入れ、四月の桜まつりの準備もはじめられるなど、不景気ムードとは別なあたたかみが感ぜられている。

一級の消費伸びる

昨年の酒のみつぶり

【写真】咲き乱れた花の平市郊外で

一平税務署は昨年の管内における酒類消費状況をまとめた。それによくと合成酒が前年より六%減った。ただ、清酒は五%、ビールは七%と、管内の消費量は昨年と同じく伸びた。昨年の第一位と二位の酒類は、二級酒の五%は地酒だった。

常磐会議所 で臨時総会

常磐商工会議所は八日午後二時から商工会館ホールで臨時議員総会を開き、同市商工会議所創立十周年記念式典▽湯本温泉分譲問題▽桜まつりなどを協議する。

化学消防車を購入

市 新産都建設に備え

新産都市の建設がこころよく工場の進出が目まぐるしく、平市はこれに化学薬品などを取り扱う工場の進出、さらには増加一方のガソリンスタンドなど不慮の災害に備えて化学消防車一台を購入する。新年度予算に購入費四百五十万円を計上した。

平で赤ちやんの診断

平市は次の日程で赤ちやんの健康診断を行う。

▽十八日 豊岡出張所▽十九日 高久出張所▽二十日 夏井出張所▽二十三日 豊野生活改善センター▽二十四日 赤井青年研修所▽二十五日、二十六日 公会堂 日本館(時間はいずれも午後時から三時半)

負担金は一億余円

磐城市の40年港湾建設

磐城市の四十年港湾建設負担金は一億四千九百九十九万九千九百九十九円と決まった。市はこの負担金の財源を、港湾建設費として、一般から五千四百八十八万八千円、その他から三千七百三十五万一千円を構成する。工事別負担金のところ(単位千円)

- ▽中作水崎船渠防波堤工事業 九二〇〇〇
- ▽小名浜港修築事業 二一〇〇〇
- ▽江名港修築事業 一四〇〇〇
- ▽中作港修築事業 一四〇〇〇
- ▽小名浜港修築事業 一四〇〇〇
- ▽江名港修築事業 一四〇〇〇
- ▽中作港修築事業 一四〇〇〇
- ▽小名浜港修築事業 一四〇〇〇
- ▽江名港修築事業 一四〇〇〇

零細企業テコ入れ

平で融資懇談会開く

国民金融公庫平支所は五日同所会議室に市内商店会代表を招いて融資懇談会を開いた。これは新産都市、十二市町村合併などにより、大きく変化する産業、経済に對するため開いたもので、懇談会では、市内商店の開閉計画、融資懇談会を開いた。これは新産都市、十二市町村合併などにより、大きく変化する産業、経済に對するため開いたもので、懇談会では、市内商店の開閉計画、融資懇談会を開いた。

磐城の民生委 推せん員決る

磐城市は次の十四人を民生委員推せん会委員に指名した。

小林重三、飯塚勝、吉田透、渡辺栄照、森坂みのる、古田勝彦、高木長年、小林仁平、斎藤安之、近藤賢一、加賀三郎、中田佑一郎、住藤力、坂本井みどり。



【今晩】 大体晴れ
【あす】 北西の風はれ
【海上】 多少風あめ

試合開始午後1時30分 待望の黄金カードいよいよ来平!!

巨人・東映 戦

3月24日 平市営球場

(前売券発売所)
民友新聞平支社 永野新聞販売店
オーツカ・ヤマカ・平運動具店
マルトモ書店

主催 福島民友新聞社 読売新聞社
後援 報知新聞社 平市

☆団体の場合(50名以上) 3月15日までに申し込み下さい

入場料	
指定席(前売)	¥、500
内野席学童	¥、150
当日	¥、550
外野席大人(前売)	¥、200
内野席(前売)	¥、300
当日	¥、250
外野席学童	¥、80

